

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0//1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806000501	科目番号 / Subject code	48060005
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10001_283		
授業科目名 / Subject	多文化社会学の諸問題 (社会) / Various Problems on Global Humanities and Social Sciences (Social Sciences)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	首藤 明和 / Toshikazu Shuto, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 森川 裕二 / Morikawa Yuji, 増田 研 / Masuda Ken, 南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	首藤 明和 / Toshikazu Shuto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	首藤 明和 / Toshikazu Shuto, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 森川 裕二 / Morikawa Yuji, 増田 研 / Masuda Ken, 南 誠 / Minami Makoto		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Target students	多		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shuto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	総研棟11階・首藤研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2921		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールで連絡をして日時を相談すること。状況に応じて柔軟に対応する。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	この講義は、多文化社会学部の新入生のための「知の旅への誘い」として位置づけられる。多文化社会とはいかなる社会なのか、それに学問的なアプローチをすることはいかなる行為なのか、この行為によって見えてくるリアリティはどのような知と実践につながるのか。具体的な研究の概要を分かりやすく説明することを通して、これらの問いに答えようとする学術的営みについてのイメージを喚起する。		
授業到達目標 / Course goals	具体的な事例に基づきつつ、メタレベルの議論へのアプローチを構想することができるようになる。特に、「多様性」、「多文化」、「他者性」等、多文化社会学のキーワードに関連した内容を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	試験・課題レポート (100%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業のなかで適宜指示をおこなう。		
キーワード / Key word	多文化社会、多様性、他者性、複雑性、偶有性等。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業のなかで適宜指示をおこなう。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 (4月5日)	(首藤) 多文化社会的状況における諸問題とは何か 冷戦構造後のカルチュラル・ターン、すなわち地政学上の地殻変動から生じた文化転換以降、文化はその包容性と排他性を顕現化させ、諸現象の説明変数として威力を発揮している。承認をめぐるポリティックス (神々の闘争) が増幅する今日の「多文化社会的状況」を、具体的な事例を通じて紹介する。		

第2回 (4月12日)	(首藤) グローバリゼーションと民族文化の越境 意識(心)のなかの思考や、社会のなかのコミュニケーションは、意味を媒介にして作動する。今日の「多文化社会的状況」の諸矛盾を、意識やコミュニケーションはどのようにして乗り越えようとしているのか、民族文化の越境から説明。
第3回 (4月19日)	(森川) 歴史・記憶における国際政治 アジアという地域の固有性に配慮しながら、地域間(内)の相互の関係を論及する縦軸(空間軸)と、歴史・記憶という横軸(時間軸)の因果関係を検討するための学問的な姿勢を議論。
第4回 (4月26日)	(南) 満洲の歴史と記憶 包摂と排除・忘却と想起・支配的言説による他者構築 満洲にみる境界文化の生成とポリティックスを議論。
第5回 (5月10日)	(コンベル) 沖縄の歴史と記憶 戦時戦後の沖縄の日常に見るポリティックスについて議論。
第6回 (5月17日)	(増田) アフリカと日本をつなぐ歴史的想像力 多くの日本人が知識を持ち合わせない圧倒的他者としてのアフリカを対象として、どのように日本との間に歴史的な想像力を発揮しうるのか、16世紀以降のグローバル化の文脈のなかで理解する。
第7回 (5月24日)	(増田) 紛争論 冷戦後、「文化」や宗教、そして民族が人々を動員する鍵となり、そこに政治が深くかかわっていくようになった。現代の民族紛争からISILにいたる諸現象を俯瞰的に説明する。
第8回 (5月31日)	(首藤) まとめ・試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0//1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806001001	科目番号 / Subject code	48060010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10011_283		
授業科目名 / Subject	多文化社会学の諸問題 (人文) / Various Problems on Global Humanities and Social Sciences (Humanities)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi, 佐久間 正 / Tadashi Sakuma, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 佐久間 正, 谷川 晋一		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	総合研究棟12F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2932		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時: まずメールでご連絡ください。日時を相談の上面談いたします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	この講義は、多文化社会学部の新入生のための「知の旅への誘い」として位置づけられる。多文化社会とはいかなる社会なのか、それに学問的にアプローチするとはいかなる行為なのか、この行為はどのような知と実践につながるのか。具体的な研究を分かりやすく説明することを通して、このような学術的営みの輪郭を描き出すことがこの講義の目的である。「多文化社会学の諸問題」の人文篇においては、主として「共生文化コース」と「言語コミュニケーションコース」につながる問いを取り上げる。		
授業到達目標 / Course goals	多文化社会学という学問領域の人文系において、人間や文化に関してどのような問いが立てられ、どのような知見が生み出されているのか、具体的な事例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	個々の授業に関するレスポンスペーパーないし小レポート (5点×7回=35点)、最終レポート (50点) + 授業への取組み (15点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。最終レポートは、最も興味を引かれたトピックに関して、自分なりに調べて、まとめるという形式になります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習中心に講義を組み立てています。		
キーワード / Key word	言語、翻訳、宗教、思想、歴史、文化		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 長崎大学多文化社会学部 (編)・木村直樹 (他著) 『大学的長崎ガイド: こだわりの歩き方』 昭和堂 (2018)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	多文化社会学部正規学生・留学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	高校での勉強とは違う、知の世界を旅しましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
8回+最終レポート	<p>"1回目は人文系の視点から見た多文化社会学について概観する。2回目以降は各担当教員が、自身の調査研究や教育実践の中から「多文化社会学とは何か?」という問いに関連した具体的トピックを挙げて講義する。</p> <p>1回目 総論 葉柳 (人間学から説き起こす人文学) 4/6</p> <p>2回目 言語 谷川(言語と社会: 地域方言と社会方言の観点から) 4/13</p> <p>3回目 文化1 葉柳(翻訳の可能性と不可能性) 4/20</p> <p>4回目 文化2 葉柳(言語表象と世界の見え方) 4/27</p> <p>5回目 思想 佐久間(自己認識と他者理解) 5/11</p> <p>6回目 宗教 滝澤(科学と宗教のあいだ) 5/18</p> <p>7回目 歴史 木村(歴史的事実と歴史叙述・歴史認識) 5/25</p> <p>8回目 まとめ 葉柳 6/1"</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806001501	科目番号 / Subject code	48060015
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10021_371		
授業科目名 / Subject	国際公共政策入門 (政治) / Introduction to International Public Policy (Politics)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cmplrad[at]nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	多文化社会学部11階		
担当教員TEL/Tel	2944 (コンベル)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12時~12時50分(予めeメールでアポを取って下さい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本講義を通して社会の基本的な仕組みについて、政治学の主要な概念および手法を踏まえて理解を深めることを目指します。何となくなじみにくい印象はありますが、実は「生きる」、「つながる」、「話し合う」、「伝える」、「働く」、「支える」、「安心する」、「自由になる」、「越える」など、我々に身近な事柄を見つめていきます。これらは公共とはどのように関わっているか、日常生活でふと感じた疑問が公の場でどのように解決されているかについて、国内と海外の両方の視点に立って考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	現代政治が抱える課題について把握すること(基盤的知識)、 社会を構成する人々の文化的背景や価値観の多様性を理解すること(多様性の意義)、 公共性の観念およびガバナンスのあり方について批判的に検討できること(批判的思考力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	学生が授業中に行った発表、グループワークおよび定期試験によって総合的に判断する。 討論・質疑への積極的な参加、グループワーク、ミニプレゼン、ミニレポート、小試験 50% 期末試験又はレポート 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	公共性、ガバナンス、自治・政治・国際関係		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。講義内容に関連した資料はLACSを利用して配付する。 参考となる文献は次の通り： Minogue, Kenneth. Politics: A Very Short Introduction. Oxford, 2010. Miller, David. Political Philosophy: A Very Short Introduction. Oxford, 2016. Theodoulou, Stella, oth. Public Administration: A Very Short Introduction. Oxford, 2016. Bevir, Mark. Governance: A very short introduction. Oxford 2012.  篠原一 『市民の政治学』岩波書店、2004年。 苅部直 『ヒューマンティーズ 政治学』岩波書店、2012年。 苅部直ほか 『政治学をつかむ』有斐閣、2011年。 畑山敬夫ほか編 『ポスト・フクシマの政治学』法律文化社、2014年。 齋藤純一ほか編 『政治の発見』全8巻、風行社、2012年。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではグループワークの時間もあります。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のねらいと方法・公共政策の主体
第2回	公共政策の制度
第3回	公共政策の資源
第4回	公共政策の成果
第5回	公共政策への参加
第6回	公共政策と安全
第7回	公共政策と良いガバナンス

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806002001	科目番号 / Subject code	48060020
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10031_361		
授業科目名 / Subject	国際公共政策入門(法) / Introduction to International Public Policy (Law)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Target students	多文化社会学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fazuma nagasaki-u.ac.jp ( @ )		
担当教員研究室 / Instructor office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2925		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 / Wed 6		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	本講義は、法学の基礎の習得を目的とし、法学および憲法の基本事項の講義を行います。		
授業到達目標 / Course goals	法律がどのような目的をもち、どのような仕組みで機能するのか、および、憲法とはどのような法規範かを理解することを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業参加度(15%)、試験(85%)によりますが、積極的な受講態度による加点と、私語による減点があります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習を行ってください。講義資料(レジュメ、ノート)を見返し、重要な点は何だったか、疑問点がないかを確認してください。疑問が解けない場合、講師に質問してください。		
キーワード / Key word	法学、憲法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	池田真朗他編「法学六法'18」信山社(2017年) 高乗正臣他著「プラクティス法学実践教室(1)法学・民法・刑法編(第5版)」成文堂(2015年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	法学の未修者を対象としていますので、とくに履修条件はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	とくに国際法やEU法を勉強するために、基礎知識として基本的な法律の知識をつけましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回(10月4日)	ガイダンス、法学1: 法の概念		
第2回(10月11日)	法学2: 法の分類、法の効力		

第3回 (10月18日)	法学3 : 解釈と適用、裁判制度 1
第4回 (10月25日)	法学4 : 裁判制度 2
第5回 (11月1日)	憲法1 : 基本原則
第6回 (11月8日)	憲法2 : 統治機構
第7回 (11月15日)	憲法3 : 人権
第8回 (11月22日)	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806002501	科目番号 / Subject code	48060025
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10041_381		
授業科目名 / Subject	国際公共政策入門(経済) / Introduction to International Public Policy (Economics)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小松 悟 / Satoru Komatsu		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Target students	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skomatsu @ nag asaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟、多文化社会学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにてアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	様々な人間の行動は、経済学の見方を取り入れることで、その背景や理由をより詳しく理解することができます。本講義では人間活動の蓄積である文化や社会的な慣習を踏まえて成立してきた経済現象を取り上げます。身近な事例を基に人々の行動の背景となる経済学の知識を学び、自身の意思決定にも役立てることを目指します。本講義を通じて、社会の基盤となる経済現象の多様性を理解することで、多文化社会における経済問題の位置づけを考えます。		
授業到達目標/Course goals	(1)経済への関心を深めるとともに、身のまわりの社会現象を経済学の視点から理解できること。 (2)学んだことを生かして、より豊かな社会を築くための制度設計を考えることができること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	提出物の内容による評価：70% 最終試験：30% 6回以上欠席した学生は成績評価の対象としない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	インセンティブ、選択、文明史、交易、世界システム論		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要な教材は、講義の中で適宜指示する。 ・参考書 -大竹文雄(2005)経済学的思考のセンス お金がない人を助けるには、中公新書 -Gregory Mankiw(2011) Principles of Economics, 6th edition, Cengage Learning. -一橋大学経済学部(2013)教養としての経済学：生き抜く力を培うために、有斐閣		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	経済学はお金のことだけを扱う学問ではありません。人々が日常何気なく行っている選択行動や意思決定を対象とする学問です。身近な行動を分析することで、人々や社会全体が幸福になるためにはどうしたらよいかを考えます。みなさんの積極的な参加を期待します。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>イントロダクション、結婚の経済学            本講義の全体構成を説明します。実社会の様々な現象を経済学の見方で捉えることの意義や重要性を考えます。            近年晩婚化が進む中でも結婚したいと考える人は依然として多いです。機会費用、ベッカー理論、比較優位といった概念をもとに結婚のメリットとデメリット、家族を持つことの意味を経済学の視点から考えます。</p>
第2回	<p>購買行動            人々は日常生活の中で無意識に様々な選択をしています。今回は購買行動を事例に選択行動を考えます。更に市場にある品も、同じ品質のものでも季節や日時に応じて価格が大きく変動しています。学割やバーゲンといった事例から価格差別、更に選択のパラドックスを学び、購買行動における選択、商品の価格の意味を考えます。</p>
第3回	<p>文化と観光            社会が多様化・国際化していくと同時に、地域の固有の伝統・文化を再発見し地域振興に寄与しようとする動きも広がっています。日本における旅の歴史・文化を振り返るとともに、観光による経済効果をどのように地域に還元するのかを考えます。</p>
第4回	<p>お金と幸福の経済学            お金があっても幸せになれるとは限りませんが、お金がなければ幸せな生活をつかむのは難しいと思います。一方で、所得が高くとも幸福感が高くないという現象は、日本だけではなく欧米諸国でも確認されています。幸福はいったいどのような要因で決まるのか、相対所得仮説や順応仮説といった理論を踏まえながら、お金と幸福との関係を考えます。</p>
第5回	<p>貧困と格差            競争や格差に関する捉え方は、市場経済国の中においても大きく異なります。貧困とはどういう状況を指すのか、格差は近年広がっているのかどうか。ここでは各国の競争・格差・貧困や経済格差を近年の指標で確認するとともに、格差が存在することの意味を考えます。</p>
第6回	<p>賃金と就職            働くことや雇用に対する考え方は国によっても大きく異なります。各国における近年の雇用情勢を踏まえながら、働き方の違い(正規労働と非正規労働)、就職活動、失業、職業訓練の意味を考えます。</p>
第7回	<p>リスクと保険            人々のリスクに対する考え方は非常に多様です。実社会で様々なリスクに備えるための仕組みが保険です。ここでは自分のリスクに対する捉え方を、実験を通じて考えます。更に少子高齢化が進む中での医療や老後の経済的問題を検討します。リスク選好・不確実性・トレードオフといった概念をもとに、リスクに対する備え、保険の役割や限界を考えます。</p>
第8回	<p>期末試験</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806003001	科目番号 / Subject code	48060030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10051_401		
授業科目名 / Subject	社会学入門 / Introduction to Sociology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 則弘		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 則弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 則弘		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Target students	1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nnakamura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟(12F)、中村研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2951		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前期は火曜4限(14:30-16:00)、期は水曜5限(16:10-17:40)とする。ともに事前連絡を要する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	社会学とはどういう学問なのか、それを学ぶことの意味はどこにあるのかを、なるべく平易に講義 します。社会学的想像力ということ、講義全体を貫く軸として設定します。		
授業到達目標/Course goals	社会学について自分なりの説明ができるようになる。 社会学的な見方を理解できるようになる。 社会学的想像力の重要性を意識できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に適宜指示する。		
キーワード/Key word	社会学、社会学的想像力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中に適宜指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社 会的障壁の除去および合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポ ートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相 談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MALL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	社会学の面白さをわかってもらえればと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	ガイダンス		

2回	社会学とは何か
3回	社会学理論の類型化をめぐって
4回	社会学と社会学的想像力
5回	社会学の古典から
6回	現代社会をめぐって
7回	問題意識と社会学 - 学生自身の取り組みから
8回	試験と講評

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806003501	科目番号 / Subject code	48060035
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10061_351		
授業科目名 / Subject	人類学・民俗学入門 / Introduction to Anthropology and Folkloristics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	増田 研 / Masuda Ken		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Target students	2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	科目責任者・増田研 ken-m@		
担当教員研究室/Instructor office	総研棟2階 増田研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2923		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適宜メールにてアポイントメントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この科目は、文化人類学(Cultural Anthropology)と民俗学(Folklore)の入門科目である。この科目に引き続いて、文化人類学基礎が、「観光」「生態・社会」「民族誌」「民俗学」の4つあるため、ここではこれら4つの基礎科目へのイントロダクションとしての位置づけが与えられている。		
授業到達目標/Course goals	この科目の到達目標は以下の一点である。 (1) 欧米および日本における「異文化」への眼差しの変遷を、学説史を引き合いに出しながら説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	講義科目であるが、小さなワークを複数回採り入れるほか、復習課題も課す。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として、参考書の該当箇所を読むことが求められる。		
キーワード/Key word	自然と文化、文化人類学、民俗学、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書は以下の通りである。 1. 奥野克巳・花淵馨也(編)『文化人類学のレッスン』学陽書房、2005年 2. 山下晋司(編)『文化人類学入門：古典と現代をつなぐ20のモデル』弘文堂、2005年 3. 内堀基光・奥野克巳(編)『文化人類学』NHK出版、2014年		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	多文化社会の動態を、ミクロな領域から切り開き、ヒト社会全体の課題として提示するのが人類学・民俗学です。この講義では主に、「なぜ人類学・民俗学的なアプローチが生まれ、必要とされるのか」という、学問そのものの根幹を問いなおすために、学説史を学びます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	文化人類学超入門 ・「文化」概念と、「ヒト学」の基本		

2	<p>文化的他者への眼差しの変遷(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的な近代人類学以前の、文化的他者への眼差しの変化をたどる。</li> </ul>
3	<p>文化的他者への眼差しの変遷(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀の非科学的文化進化論から、機能主義的人类学へと移行するプロセスを学ぶ。</li> </ul>
4	<p>方法としての民族誌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人類学的フィールドワークの祖であるマリノフスキー依頼、多様に取り組みられてきたエスノグラフィックなフィールドワークが切り開く、文化研究の可能性をまなぶ。</li> </ul>
5	<p>環境適応と生業経済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どれほど文化が多様でも、ヒトである以上はかならず「メシを食う」。食糧の獲得・生産はすべての人類学必要とする文化的技術であり、そのためには環境の認識と適応が必要である。ここでは、狩猟採取、牧畜、農耕の3つの生業経済の概要を学ぶ。</li> </ul>
6	<p>社会的生物としてのヒト：社会構造と人生の規範</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人類学において古典的な研究テーマであり、現在でも基礎的な調査課題である親族とコミュニティの基礎的な理論を学ぶ</li> </ul>
7	<p>「文化」や「民族」の揺らぎ：グローバル化と個別文化の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化による世界規模の文化の画一化が進むなか、ローカリティ（地域性）の生産と再生産によって、従来は当たり前だとされてきた「文化的」「民族的」を捉えることは難しくなっている。そうした状況に人類学的アプローチがどのように有効性を発揮するのか、観光と文化資源の事例をとおして学ぶ。</li> </ul>
8	<p>期末試験</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806004001	科目番号 / Subject code	48060040
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10071_331		
授業科目名 / Subject	歴史学入門 / Introduction to Historical Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	正本 忍 / Masamoto Shinobu, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	正本 忍 / Masamoto Shinobu, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2928		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 13:20-14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	かつてE・H・カーという歴史家は、「歴史とは現在と過去との対話である」といったが、大学で学ぶ歴史学は高校の「日本史」、「世界史」とはずいぶん異なる。本講義はまず、いわゆる歴史学を中心にして、歴史とは何か、歴史を研究する意義とは何か、歴史学の歴史、歴史を研究する際の素材(史料)、その分析・解釈の方法、歴史学が扱うさまざまなテーマなどを論ずる(以上、5回)。そして、最後の2回では、物質資料を通して人類史を研究する考古学を中心に、文献史学の関連分野やそれらの関係性を紹介する。		
授業到達目標/Course goals	史学史を踏まえた上で、歴史および考古学を研究する意義について説明できる。 歴史学・考古学の材料としての史料・資料を批判的に検討する技法を得る。 自分を現代史の中に位置づけることを通じて、人類史の中で現代を相対化する視点を得ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	正本担当分: 課題レポート(40%)、定期試験(30%) 野上担当分: 課題レポート(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の講義の終了時に指示する。		
キーワード/Key word	歴史叙述、史料・資料、史料批判、方法論		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いず、プリントを配布する。参考文献は、講義中に提示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10月4日	歴史とは何か、歴史を研究する意義とは何か
10月11日	歴史学(歴史叙述)の歴史
10月18日	歴史学研究方法(1):史料批判、史料読解
10月25日	歴史学研究方法(2):歴史学の諸テーマ
11月1日	現代史の中の「自分」
11月8日	考古学入門(1):モノから見る人類史
11月15日	考古学入門(2):考古学の方法論
11月22日	総括および定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806004501	科目番号 / Subject code	48060045
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10081_275		
授業科目名 / Subject	文化研究入門 / Introduction to Cultural Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伍 嘉誠		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	伍 嘉誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	伍 嘉誠		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Target students	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ngkashing@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	私たちは日常生活の中で、「日本文化」、「中国文化」、「大衆文化」、「キリスト教文化」とい った言葉を、特にこだわりなく使用していることが多い。「文化」とはそもそも何なのか、「文化 」と「社会」とはどのような関係にあるのか、「文化」「文化」に対するイメージ」はどのよう に形成されてきたのか、私たちの日常生活はどのように「文化」のはたらきによって影響をうけて いるのか、「文化」と「権力」との関係をどのように理解するのか。本講義では、このような問題 意識に基づき、具体的な事例を用いながら、文化研究の基本的枠組みを理解することを目的とする 。特に、現代の人間と社会に関わる諸学のキーワードである「文化」に関わる諸領域、とりわけ、 宗教文化、文化表象、メディア研究の基本的な考え方、研究対象、研究手法を取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	本質主義的な文化理解から構築主義的な文化理解へのパラダイム転換の大枠について具体的な事例 を挙げて説明できるようになることを目標とする。また、文化研究の基本的な視点と理論を理解し 、日常生活の中で出くわす様々な問題や、日本、世界における社会・文化現象を分析できるよう になる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	課題(小レポート)の合計点(50%) 最終試験(テストあるいはレポート)の得点(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義の内容をしっかりと把握するため、予習と復習を重視する。		
キーワード/Key word	文化、宗教、社会、メディア、表象		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定しない。参考書については講義中適宜指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
概要	この授業のねらいは、「文化はどのように形成されてきたか」、「他者のイメージや偏見は如何に生じ、継続されているのか」という問題を文化研究的な観点から明らかにすることにある。取り上げるトピックは具体的かつ日常的なものである。すなわち、手がかりとするのは、宗教、映画、スポーツ、メディア、芸術、歴史叙述といった事例である。
第1回	イントロダクション 文化研究における本質主義と構築主義
第2回	オリエンタリズム 絵画・映画における西洋人の東方イメージ
第3回	ステレオタイプはなぜ、どのように形成されるのか？ ハリウッド映画にみるアジア人表象、中国「戦争ドラマ」における日本表象、日本マスメディアにおける中国表象
第4回	なぜ表象間の差異は生み出されたのか？ 日米ゴジラ映画の比較分析からみる表象の受容と文化的な背景との関係
第5回	「黒人身体能力神話」 スポーツ番組における黒人の身体イメージ
第6回	宗教文化の諸相 人はなぜ宗教を求める / 求めないのか？
第7回	東アジアにおける宗教文化 日本と中国の事例を中心に
第8回	マスメディアと女性像の形成 ハリウッド映画・漫画を中心に

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806005001	科目番号 / Subject code	48060050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10091_294		
授業科目名 / Subject	思想・宗教研究入門 / Introduction to Intellectual and Religious Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 連 清吉 / Ren Seikichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 連 清吉 / Ren Seikichi		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa_nagasaki-u.ac.jp ( @ )		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	我々はいかなる存在か、そしてどのような世界に生きているのか、古来人は様々に思い巡らしてきた。本授業は、時間や空間、靈魂や生命、人間や宇宙といったものについて人が抱いてきた観念を歴史的に俯瞰することで、いま私たちが「当たり前」と信じている近代的(科学的)な人間観やコスモロジー(宇宙像)を見つめなおす。それを通して、思想や宗教について学ぶための基本的な視座を身につける。		
授業到達目標/Course goals	時間や空間、靈魂や生命、人間や宇宙に関する人間の観念の歴史を学び、その概要を説明できるようになる。 近代的なもの見方、考え方を批判的に捉えるための基本的な視座を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への積極的参加 (レスポンスーパーの提出など) 50%、課題50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する文献・資料の読解		
キーワード / Key word	思想, 宗教, 人間, 世界, 社会		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考文献については、授業中に適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	イントロダクション
第2回	円環的時間と線形的時間
第3回	キリスト教と近代的生命観
第4回	キリスト教と近代的人間観
第5回	儒教の人間観と世界観
第6回	道教の時間論と空間論
第7回	佛教の生命観

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806005501	科目番号 / Subject code	48060055
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10101_321		
授業科目名 / Subject	言語コミュニケーション入門 / Introduction to Language and Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一, 楊 曉安 / Yang Xiaolan, Cutrone Pino / Pino Cutrone, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, 原田 走一郎 / Soichiro Harada, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一, 楊 曉安 / Yang Xiaolan, Cutrone Pino / Pino Cutrone, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, 原田 走一郎 / Soichiro Harada, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Target students	多文化社会学部1年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	代表者谷川: shintanigawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	ピノ、谷川、原田: 総合教育研究棟5階、10階、12階 小笠原、西原、楊、隈上: 言語教育研究センター1階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールによる申請で対応		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	<p>多文化社会で活躍するには、言語に関する基礎的知識を習得した上で、場面に応じて適切かつ適確に言語を運用する力が求められる。本授業では、英語、中国語、日本語を軸に、言語そのものの特性とそれを取り巻く環境について考察を行うことで、「言語学」と「語学」の差別化を行いながら、言語研究の重要性と意義について学ぶ。言語のしくみと機能を適切に理解することがコミュニケーションにとっていかに重要であるかについて意識的に考えることで、現代社会において正しく言語運用を行うための視点を養う。</p> <p>言語コミュニケーションコースにおいて3年次対象の専門科目を担当する教員が各回、それぞれの研究分野の観点から、講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の特性やしぐみ、機能を理解することの重要性を認識できる。</li> <li>・言語学が何を目標とする学問領域であるかを適切に理解できる。</li> <li>・言語学の主要研究領域とその特徴について大筋で理解できる。</li> </ul>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の特性やしぐみ、機能を理解することの重要性を認識できる。</li> <li>・言語学が何を目標とする学問領域であるかを適切に理解できる。</li> <li>・言語学の主要研究領域とその特徴について大筋で理解できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への積極的な参加と取り組み: 30% 課題: 70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	言語学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にハンドアウト等を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 6/8	オリエンテーション & 言語学で何を学ぶのか (谷川)
第2回: 6/15	英語学 (西原)
第3回: 6/22	社会言語学、語用論 (ピノ)
第4回: 6/29	応用言語学、英語教育 (小笠原)
第5回: 7/6	日本語学、方言学 (原田)
第6回: 7/13	中国語学、日中対照言語学 (楊)
第7回: 7/20	母語獲得、第二言語習得 (限上)
第8回: 7/27	総括 (谷川)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20184806006001	科目番号 / Subject code	48060060
科目ナンバリングコード / Numbering Code	HSMC 10111_271		
授業科目名 / Subject	エリア研究入門 / Introduction to Area Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto, 首藤 明和 / Toshikazu Shuto, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 王 維 / Wan Uei, 賽漢卓娜 / Saihanjuna, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	南 誠 / Minami Makoto, 首藤 明和 / Toshikazu Shuto, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 王 維 / Wan Uei, 賽漢卓娜 / Saihanjuna, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Class type	学部モジュール		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	lsk-minami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	総研棟10階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2926		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前に連絡すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	この講義は、「エリア研究」という切り口から見た、「知の旅への誘い」である。エリア研究の 現状と課題の紹介を踏まえて、「液状化する地域研究(liquid area studies)」という観点から、人 文・社会系の諸学問が、ヒト・モノ・カルチャーの移動/伝播(フロー)をどのように解明して いるのかを具体例を通じて学び、地域空間(渦)の生成と再生産について理解を深めていく。 ・具体的な事例を通して、新しいエリア研究の視角を獲得するとともに、それを自分の言葉で説明 できるようになる。		
授業到達目標 / Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	講義参加60%、最終レポート40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	液状化する地域研究(liquid area studies)、ヒト・モノ・カルチャーの移動と融合、グローバル化 とローカル化、地域空間の生成と再生産、北東アジア、コリアン、華人・華僑、北方少数民族、回 族、モゴル、窯業技術		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	講義中に必要に応じて指示する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	講義内容などについて変更があった場合は、講義中で改めて説明する。		
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第一回 (11月30日)	イントロ (担当: 南誠)
第二回 (12月7日)	北東アジアにおけるコリアンの移動 (担当: 宮島美花)
第三回 (12月14日)	華人・華僑文化のグローバル化とローカル化 (担当: 王維)
第四回 (12月21日)	中国の北方少数民族の越境移動と家族 (担当: 賈漢卓娜)
第五回 (1月11日)	東南アジア (雲南・ミャンマー・タイ・台湾) における回族の移動 (担当: 首藤明和)
第六回 (1月25日)	世界を遊牧するモンゴル人と宗教 (担当: 滝澤克彦)
第七回 (2月1日)	北東アジアにおける窯業技術の伝播 (担当: 野上建紀)
第八回 (2月8日)	まとめ (担当: 南誠)